

すわ光昭 県政だより

発行 者
新ながの・公明 大町支部
支部長：諏訪光昭

〒398-0002 大町市大町(下仲町)4067
TEL：0261-23-7460 FAX：0261-23-7461



副議長退任のあいさつ
本会議場にて

長野県議会副議長退任のあいさつ

昨年3月15日の本会議において、議員各位のご推挙をいただき、長野県副議長に就任をさせていただきました。一年間、垣内元基議長を補佐し円滑な議会運営、県民福祉の向上に全力で努めてまいりました。

加えて、より一層開かれた県議会とするため、広報委員会委員長として、的確、適正な情報発信に心がけながら議会広報活動にも携わらせていただきました。広報委員会の活動を通して、地元大町岳陽高校生徒の皆さん、県内各地の高校生などの若者をはじめ、県民の皆様の生の声を聞くことができ、将来の長野県を共に考えることの重要性についても再認識させていただきました。

副議長として様々な経験をさせていただきました。この貴重な経験を生かして、長野県の更なる発展のため、誠心誠意努力を重ねてまいり所存ですので、変わらぬご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

長野県議会議員 諏訪 光昭



垣内議長に副議長辞職願いを提出



正副議長章の引き継ぎ



阿部守一知事に退任のあいさつ



議会事務局職員へ退任のあいさつ

県議会平成30年2月定例会(会期：2月16日～3月16日)の報告

県議会2月定例会では、阿部守一知事から平成30年度一般会計予算案、平成29年度一般会計補正予算案などの議案が提出されました。

本会議では「一般質問」の他に、「代表質問」が行われます。「代表質問」は、所属会派を代表し、各会派の政策上の問題について会派内で質問事項を調整した上で質疑や質問を行うものです。長野県議会における「代表質問」は、通常2月定例会と知事改選後の定例会において行われます。

今定例会では、自由民主党、信州・新風・みらい、新

ながの・公明、日本共産党県議団の4つの会派が代表質問を行いました。また、今定例会では、代表質問の他に、36名の議員が5日間にわたって一般質問を行いました。

議案の審議の結果、平成30年度からスタートする次期総合計画5か年計画である「しあわせ信州創造プラン2.0」の取組を実現するために要する経費等を盛り込んだ総額8,463億9,563万円余の一般会計予算案など、知事提出議案78件を原案のとおり可決、同意しました。

県議会2月定例会の主な議論の概要を報告します。

●次期総合5か年計画について

■議員の質問・質疑

次期総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」(案)の策定にあたり、長野県を今後どのような方向に発展させていこうと考えているのか。また、それを実現するためにどのような取組を行っていくのか。

●知事・部長等の答弁

大きく時代が変化する中、長寿県である長野県は「人生100年時代」における、新しい価値観や生き方、暮らし方を積極的に創造できる地域でありたい。

この計画では、基本目標を「確かな暮らしが営まれる美しい信州」、サブタイトルを「学びと自治の力で拓く新時代」とし、それを実現していくために「学びの県づくり」、

「自治の力みなぎる県づくり」の2つを政策推進のエンジンと位置付けた。

また、未来志向でクリエイティブな社会をつくる観点から「産業の生産性が高い県づくり」と「人をひきつける快適な県づくり」、さらには、県民の思いに寄り添いながら安心して希望あふれる社会をつくる観点で「いのちを守り育む県づくり」と「誰にでも居場所と出番がある県づくり」を政策推進の基本方針に掲げ、これに則した政策の具体化を進めたいと考えている。

■議員の質問・質疑

合併した旧町村地域人口減少や集落崩壊の要因として、公共機関や学校等の統廃合、病院や福祉施設等の縮小や廃業、公共交通の利便性の低下等による住民サービスの低下が考えられる。

次期計画案では、「すべての住民が快適に、また創造的に暮らせる生活基盤を整備する」としているが、本格的な人口減少社会において、今後、住民サービスを維持・確保していくために具体的にどのような対策を講じるのか。

●知事・部長等の答弁

人口減少下における住民生活を維持・確保していくための大きなポイントとして、1つ目は、地域交通ネットワークの維持・構築、情報通信ネットワークを確保する取組、2つ目は、地域の担い手となる人材の確保・育成や住民主体での取組を支援し、地域コミュニティの維持・活性化を図ること、3つ目は、広域的な対応によるスケールメリットを生かした市町村の行財政基盤の安定化と考えている。県として、これらの取組を支援していきたい。

●スポーツ振興、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について

■議員の質問・質疑

平昌オリンピックでの小平選手や菊池選手、高木選手の大活躍に触発され未来のトップアスリートを目指そうとするスポーツ好きの女子をはじめ、女性アスリートの強化策を今後どのように進めていくのか。

●知事・部長等の答弁

平成30年度から、2027年の国体開催を見据えて、男女を問わず成長段階に応じたジュニア選手の発掘・育成に取り組む。

また、女性アスリートの特有の課題に対して「競技力向上対策本部」においてサポートのあり方等を検討していきたい。

■議員の質問質疑

国体の開催は、単に大会を開催するというのではなく、大会終了後の地域スポーツの振興にも大きな影響を与えるものである。ついては、総合開・閉会式会場を含め、競技会場の選定は、今後どのようなスケジュールで取り組んでいくのか。

●知事・部長等の答弁

選定は準備委員会で進めていくが、具体的には専門委員会を3月に立ち上げ、本格的な選定作業に着手する。

総合開・閉会式会場は、求められる施設の基準、先催県の例を参考にして最もふさわしい会場を選定し、各競技会場地は、事前に市町村と競技団体の希望を調査、ヒアリングなどを行って、順次選定していく予定である。

県議会常任委員会・危機管理建設委員会に所属することとなりました。併せて議会運営委員会委員も務めます。

県政は、財政・教育・福祉などいろいろな分野にわたっていますので、県議会議員は、より詳しく調査及び審査するために6つの常任委員会に分れて活動します。

例年2月定例会では、役員改選が行われ、常任委員会等の委員会構成も改められます。今回の改選により、私は常任委員会・危機管理建設委員会に所属することとなりました。

危機管理建設委員会は、消防・災害対策、都市計画の策定、道路・河川・県営住宅などの建設や管理、建築物に関する指導、景観育成などについて調査や議案等の審査をします。

危機管理建設委員会が担う分野は、大町市にとっても

大変重要な分野ですので、しっかりとその職務を務めてまいります。

議会運営委員会は、議会運営が円滑に行われるよう日程などを協議します。また、議会の規律、諸規定などについても協議します。

会派新ながの・公明からは清水純子議員とともに加わりました。

すわ光昭の公式ホームページもご覧下さい。

すわ光昭

検索

